

処方箋

カルテ番号		発行	年 月 日
病名			
処方	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤名（一般名）：バンコマイシン ・英名：vancomycin ・分類：グリコペプチド系 ・分類（略称）：抗菌薬 ・用法：注、経口（散）、眼軟膏 ・表示区分：なし <p>[禁忌・慎重投与]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁忌：過敏症既往歴 ・慎重投与：腎肝障害・高齢者・小児 <p>[作用]</p> <p>細菌の細胞壁を構成するペプチドグリカン前駆体の D-アラニル-D-アラニン部位に結合し、細胞壁合成を阻害する。また、細胞膜の変性及び RNA 合成阻害を引き起こし、殺菌的に作用する。</p> <p>[適応]</p> <p>（注）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バンコマイシン感受性の MRSA による以下の疾患 敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髓炎、関節炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、腹膜炎、化膿性髄膜炎 ・バンコマイシン感受性の MRCNS による以下の疾患 敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髓炎、関節炎、腹膜炎、化膿性髄膜炎 ・バンコマイシン感受性のペニシリン耐性肺炎球菌による以下の疾患 敗血症、肺炎、化膿性髄膜炎 ・MRSA または MRCNS 感染が疑われる発熱性好中球減少症 <p>（散）</p> <p>バンコマイシン感性 MRSA・Clostridioides difficile による感染性腸炎、骨髓移植時の消化管内殺菌</p> <p>（眼軟膏）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バンコマイシン感受性の MRSA・MRSE による以下の疾患のうち、既存治療で効果不十分なもの 結膜炎、眼瞼炎、瞼板腺炎、涙囊炎 <p>[副作用]</p> <p>レッドマン症候群、急性腎不全、TEN、SJS、第 8 脳神経障害、汎血球減少、薬剤性過敏症症候群、</p> <p>豆知識（国試対策事項や使用の注意等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●治療域と副作用域が近いため、投与中の患者には TDM を実施し、その血中濃度を確認する必要がある。 ●血中濃度の有効域は 10～15 $\mu\text{g/ml}$ で、20 $\mu\text{g/ml}$ 以上になると副作用発現率が上昇する。 ●採血は投与 4～5 回目の直前の血中濃度をトラフ値とする。 ●分子量が非常に大きいので、消化管から吸収されない。 ●そのため、経口剤は消化管「内」の感染症・除菌に限られる。 ●レッドマン症候群予防のために投与には 60 分以上かけて行うこと。 ●名前はペニシリン耐性黄色ブドウ球菌に打ち勝つ（vanquish）に由来する。 		